

一般会計歳出153億71万円 特別会計歳出61億9,977万円

国保へ6.7億円余を補填、累積赤字は解消。単年度赤字が課題

9月定例会

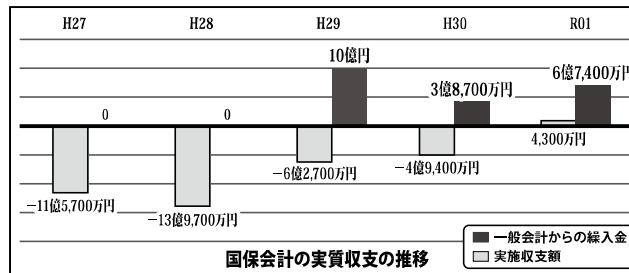
令和元年度決算を中心に審議し、意見を付け、6会計すべてを認定しました。また、条例6件、補正予算6件、農業委員の任命に関する議案を審議し、すべて可決しました。一般質問は13人の議員が3日間にわたり質問しました。

今後の行政運営に活かすよう1点の意見を付し認定
都市計画決定後の工作物設置については、可能な限り指導し、新たな補償が発生しないように努めること。

本町財政が抱える最も大きな課題である、国民健康保険特別会計の赤字については、中期財政計画に基づき平成29年度に10億円、平成30年度に3億8,700万円の解消を図りました。

続く第3次財政健全化計画により、令和元年度は累積赤字6億7,391万円全てを解消しました。3年間で一般会計からの繰入れ合計額は20億6,091万円となります。

国保事業の累積赤字は解消されましたが、今後は単年度赤字の圧縮・解消のため、健全化を図られるよう引き続き注視します。



会計	歳入	歳出	歳入歳出差引額	
一般会計	154億7,205万円	153億71万円	1億7,134万円	
特別会計	国民健康保険	46億6,655万円	46億2,329万円	4,326万円
	後期高齢者医療	3億1,616万円	3億1,348万円	268万円
	下水道事業	7億347万円	6億9,025万円	1,322万円
	土地区画整理事業	5億8,706万円	5億5,090万円	3,616万円
	農業集落排水事業	2,540万円	2,185万円	355万円
	小計	62億9,864万円	61億9,977万円	9,887万円
全会計合計	217億7,069万円	215億48万円	2億7,021万円	

令和元年度 一般会計
町民1人あたり約38万2,000円(38万円)使いました。
(令和2年3月31日現在人口 3万9,991人)
主な項目ごとの内訳 ※()内は平成30年度の数値です。

民生費	土木費	総務費	教育費
18万2,412円 (16万6,973円)	2万2,385円 (2万4,565円)	5万3,172円 (5万5,660円)	5万2,401円 (4万6,903円)
公債費	衛生費	消防費	農林水産費
2万6,249円 (2万5,851円)	2万3,989円 (2万4,261円)	1万1,830円 (1万0,738円)	2,444円 (5,489円)

監査委員の意見

代表監査委員 稲福 清
議会議長 宮城 清政
* 審査期間 7月1日～8月24日

【適切な事務処理を】
固定資産税の特例の適用に関する誤り、日本脳炎予防接種予診票の通知漏れ、乳がん検診無料クーポン券の有効期限の記載誤りがあった。
適切な事務処理を図るため、職員一丸の体制で事務処理等のミスを防ぐよう要望する。

【一括交付金の効果的な事業完了を】
沖縄振興特別推進交付金事業は令和3年度までの計画であり、制度の趣旨・目的を踏まえ、効果的な事業として完了されるよう要望する。

【国民健康保険医療費の軽減を】
国民健康保険特別会計は、保険給付費の抑制に努め、引き続き前期高齢者交付金制度に起因する赤字等については、財政支援措置を国・県に強く要望されたい。

令和元年度
決算審査意見書



新しい保育施設の整備

(民生費) 2億5,499万円

よなは第2保育園(72名)と明星保育園(90名)の施設整備に使われました。本町の待機児童は8月1日現在、116名となっています。



ふるさと納税推進事業

1億3,281万円

ふるさと納税制度を活用し、事業の財源確保を図るとともに、町・事業所が一体となり南風原町のPRや地域活性化を図ります。



ふるさと納税受入実績

令和元年度: 15,602件、2億876万円

*団体による寄付を含みます。

学校ICT推進事業

(教育費) 671万円

小中学校に電子黒板やデジタル教科書等のICT機器を整備し、学力向上を目的にICT支援員を配置し、授業や教材づくり等の支援に役立てることができました。

津嘉山北地区土地区画整理事業

(土地区画整理事業) 5億5,090万円

総事業費 296億円/整備面積 71.4ha

進捗率:金額ベース 80.4%
進捗率:整備面積ベース 58.1%

津嘉山公園完成時期(令和6年)